

沖縄カトリック中学高等学校  
学校通信

# 野ばら 5月号

発行  
沖縄カトリック中学高等学校  
〒901-2215  
宜野湾市真栄原3-16-1  
TEL098-897-3300  
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>  
2013年4月27日(土)



自立心を育む

## 校長 夏見隆晴

本校では4月に高校1年生が、そして5月の連休明けには中学1年生が、それぞれ1泊2日の宿泊研修を実施しております。その狙いは、生徒一人ひとりが本校でこれからの3年間あるいは6年間を過ごすにあたって、今後の学習と生活のあり方を確認し、学校生活に悔いを残すことの無いように支援していきたいということです。

高校生か中学生かによって程度の差はありますが、この年齢の者の成長にとって大切なことは何かというと、それは「自立する」ということではないかと考えています。そのためには、けじめとなる時期毎に「はたして自分は自立に向かって進んでいるか」ということを具体的に点検していくことが有効であるのです。こんなことを考えながら、わたしは今回の合宿のための講話を準備いたしました。

まず高校生に対しては、中学時代までにやっておかなければならなかったことが、みなさんの場合は出来ていますかと問いかけてみました。この問いかけと答えは、次のようなものでした。物事がうまく行かなかったとき、他人に「何で」と問いかけるようなことをしていませんかと問い、もしそのようなことを未だにしているなら即刻止めにしましょうと呼びかけました。そしてわたしの答えは、そのような時は自分自身に「何で」という問を向けるのですとアドバイスをいたしました。

わたしは、「自分で考える」ことこそが自立のための大切な第一歩であると思っています。今の世の中、もちろんわたし自身も含めてのことですが、自分で考えるということがあまりにもおざりにされているように感じます。他人から教えられた知識を振り回すだけでは、グローバル化された社会ではもはや十分な力にはならないのです。わたしたちの暮らしている沖縄の地は、本土から来た者にとって、日常的にここは世界に向かって開かれていると感じることが多々あります。わたしたちは、知識をただ知識として伝えるのではなく、このことについては自分の考えはこれだというものを持って、周囲の人たちに伝えるとともに、世界の人たちとも接することが必要なのです。

そして中学生には、言語活動の面で早く自立して欲しいと願っております。読み・書き・話すという事で自立できてこそ一人前の大人である、と常々わたしは考えています。まず大人の言葉で話せること、そのためにはいろいろな種類の本を沢山読むことです。世の中には、いろいろな考え方をする人がいます。その誰とでも、臆することなく話ができる語彙力をつけること、そのための努力をすることを中学生の皆さんには期待しています。そうして身に付けた知識を自分の考えに昇華させ、パソコンなどに頼ることなく、敢えて自分の手で書いた美しい文字にして人々に伝えて欲しいのです。



## 英語科 國吉 瑠美

先日、高校生の英語の授業で「あなたが英語を勉強している理由をあげなさい」という問いがありました。「大学入試に出るから」と答えた生徒がいちばん多く、その次に「外国人とコミュニケーションを取りたいから」と続きました。なかには、「勉強する理由を今までに考えたことがない。授業があるから勉強してきた」という生徒もいました。大学の卒業論文を書くために同じ質問を英語の選択科目を履修している学生にも聞いたことがあります。多くの学生が「卒業単位の取得のため」と答え、多くの人が卒業後は一切英語を勉強しなくなるだろうと答えていました。英語を使えるようになるためには継続が大事だと言われており、終わりの見えない学習を続けるためには強い動機づけ(人が行動にうつるための理由づくり)が必要です。

私は主に以下の3つの理由のために英語を勉強しています。まず第一に、英語教師だからです。間違ったことを教えるわけにはいかないし、言葉は日々変化し続けるものなので、勉強し続ける必要があると感じています。

第二に、英語を理解できると得られる情報量が増えるからです。試しに”Internet”という語をグーグルで検索してみると、約 3,500,000,000 件ヒットしました。それに対し、日本語で「インターネット」と入力して検索すると、約 312,000,000 件しかヒットしませんでした。その差は約 11 倍です。全ての情報が信用できるわけではないですが、重要なことを決める際はより多くの情報を得た上で判断したいと考えています。

第三に、原語で読むといろいろな気づきがあるからです。毎年世界中で多くの書籍が出版されますが、日本人は多くの本を日本語で読むことができます。ですが、英語で書かれたものを英語で読めるといろいろな気づきがあります。ハリー・ポッターシリーズも日本語に訳されているので英語が分からなくても楽しめますが、英語で読むと英語の音遊びなどを楽しむことができます。また、ノートルダム清心学園長理事長の渡辺和子先生が書かれた「置かれた場所で咲きなさい」という本がありますが、そのタイトルにもなった詩は、原語では“Bloom where God has planted you.”となっており、「神様が(あなたを)植えたところで咲きなさい」と訳すことができます。日本語のタイトルを見ただけでは分からなかったのですが、英語で読むと今自分がここにいるのは神様が植えてくださったのだ、と理解することができました。このおもしろさは大人になってから気付きました。

上記3つの中に、ご自分に該当しそうなものはあったでしょうか。「英語を勉強するのが楽しいから」と答える生徒が一人でも増えるように、これからも授業を工夫していきたいと思えます。

“Bloom where God has planted you.”

「神様が(あなたを)植えたところで咲きなさい」



## 5月の予定



日・曜日	行事計画
7日(火)	中1宿泊研修 ～8日(水)
8日(水)	小6・部活生徒(中)交流会 15時半～
11日(土)	聖母ミサ PUP③(講演会)
13日(月)	平和パネル展 ～6月23日 歯科健診(～17日・金) 第1回定期試験1週間前につき全ての活動停止
15日(水)	※完全下校16:30
20日(月)	第1回定期試験 ～ ※高校生は22日(水)まで
25日(土)	平和学習① Benesse ① 基礎小論・小論6希望
28日(火)	進学費用対策講演会 17時～
29日(水)	※完全下校16:30
31日(金)	生徒会選挙(終了後清掃・終礼)

保護者の皆様へ

31日(金)は、生徒会選挙のため、清掃・終礼が5時45分を予定しています。お迎えの都合のあるご家庭は、調整して下さい。

## 聖母祭のご案内



5月11日(土)、8時30分より、真栄原カトリック教会にて聖母祭ミサに与ります。特に保護者の皆様宛てに通知文や出欠表は配布しておりませんが、参加を希望される保護者の方は、お子様を通して学級担任に一言お知らせください。

駐車場は教会駐車場を予定しています。もし変更の場合には、当日、立て看板か教員の誘導によりご案内いたします。

